

第 2 回 ホームレスの自立支援等に関する東京都実施計画（第 5 次）策定会議 議事要旨

1 日時

令和 5 年 11 月 30 日（木曜日）14 時 00 分 ～ 14 時 40 分

2 実施場所

東京都庁第一本庁舎 28 階 28C 会議室

3 議事次第

（1）前回議事要旨の確認

（2）議題

ア 第 4 次計画施策評価書（案）について

イ 第 5 次計画本文素案（案）について

ウ その他

4 議事要旨

（1）前回議事要旨の確認

委員から特段の意見等はなかった。

（2）議題

ア 第 4 次計画施策評価書（案）について

委員から特段の意見等はなかった。

イ 第 5 次計画本文素案（案）について

・ ホームレスについては減少傾向にあるが、駅舎や道路等にいる流動化している層と、公園・河川等にいる長期的に固定化している層が存在。それらのホームレスについて、安全や生活の観点から関わりが必要である。

・ 住宅に困られている方については、お金の面では生活保護等でどうにかなるが、ネットカフェにいる若い方や路上生活が長い方などを含め、そもそも契約のやり方がわからない方もいる。契約まで誰かがついていってあげる伴走型支援が必要なのでは、という話もある。

・ 居住支援協議会については、具体的に言うと、情報提供、相談機能を持つとか、あるいは他機関につなぐといった機能を持つということで、そういうところをより整理していくというのが、今の居住支援協議会の中で考えられていること。きちんと機能を持って、それからどこにつなげていくのか、機能を担う人をどのように、配置あるいは養成していくのかということが、今後の課題かと思う。

・ 自立支援センターの多床室については、自立支援センターに対する入所を拒否する理由の一つになっていた。個室化を進めたことで、その中で生活をし、それから就業していくという機能を果たしていける。

- ・ 公園や河川、道路のホームレスに対してアウトリーチを積極的に行っていくということを打ち出している。どのように実効性のあるものにしていくか、ということになっていくかと思う。
- ・ ホームレス期間が短い方に声掛けするのは効果的と聞いている。概数調査等の情報からホームレス期間が短い方を中心に、施設管理者と情報共有することや協力して声かけしていくことが重要。

ウ その他

委員から特段の意見等はなかった。